

病気になっても仕事を続けられる 職場環境を作しましょう！

近年、がんの治療は進歩し、がんになっても仕事を辞めず、働き続けることができるようになってきました。企業としては、今後、労働者の高齢化に伴い、がん罹患する社員の増加が見込まれるため、経営の観点からも、社員が治療を続けながら働くことができる環境を整備する必要があります。「治療と職業生活の両立支援対策」は、メンタルヘルス対策と同様に、今、企業が取り組むべき大きな課題の一つです。

独立行政法人労働者健康安全機構では、両立支援に関する各種支援を無料で提供しています。ぜひ最寄りの産業保健総合支援センターにご相談ください。

<提供している主なサービス>

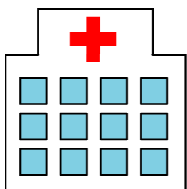
- ・事業者に対する啓発セミナー
- ・事業場への個別訪問支援
- ・患者（労働者）と事業場との個別調整支援
- ・管理監督者向けの両立支援教育
- ・両立支援に関する相談
- ・情報提供

病気になっても、働き続けることを多くの人が希望しています。私たちが両立支援をお手伝いします。



主治医から"職場復帰可"の診断書と就業にあたっての意見書をもって入社日の相談に会社に行ったところ、すぐ職場復帰支援プランを作成してもらえました。今は時間単位の有給休暇を活用して、治療と仕事を両立させています。

人事担当者と主治医の連絡調整を支援してもらい、安心して治療を受けています。



【お問合せ先】

独立行政法人労働者健康安全機構 **長崎産業保健総合支援センター**

〒852-8117 長崎県長崎市平野町3番5号 建友社ビル3階

TEL: 095-865-7797 FAX: 095-848-1177

受付時間：月～金曜日（祝日を除く） 8時30分～17時15分